

平成20年度 木津川市予算のあらまし



も く じ

はじめに		1
平成20年度 木津川市予算総額は		2
一般会計歳入の内訳は		3
一般会計歳出の内訳は		4
グラフでみる一般会計歳入予算		5
グラフでみる一般会計歳出予算		6
平成20年度の主な事業		7
市民1人あたりの予算額		13
木津川市の家計は		14

はじめに

市の予算とは

地方公共団体の事務・事業は、計画的に行われる必要があります。そしてそれは、収入の範囲内で行われるべきものです。そのため、事務・事業を執行する上では、一定の計画をつくり、それに基づく必要があります。

そこで、地方自治法では、

- ①地方公共団体の事務・事業の執行計画
- ②その執行に要する経費の財源調達計画
- ③経費の支出計画

この3つが一体となった計画、すなわち『予算』を作成し、これにしたがって事務・事業の執行及びこれに伴う経費の支出を行うべきものとしています。

同法では、毎年4月1日から翌年3月31日までを1会計年度とし、この1年間における一切の収入と支出を予算にあげるべきものとしています。

このように『予算』とは、事務・事業の執行計画を歳入・歳出という形で数量化してとりまとめた、地方公共団体の1年間の設計書というべきものです。

どうやって決まるのか

市役所の各部署では、翌年度に行う事務・事業の内容について検討し、それに伴う1年間の収入額と支出額の案を作成します。

その案をもとに、市長は施政方針によって、限られた財源の中で行うべき事務・事業についての予算案を作成し、市議会へ提案します。

市議会は、提出された予算案について、さまざまな議論を重ねながら審議します。そして議会での議決を経て最終的に予算が成立します。

また、1年間のうちには、予算案を作った時には予想できなかったことがおこったりします。そのときには、補正予算を作って当初の計画変更を行います。もちろん、補正予算も議会での議決があって成立するものです。

一般会計と特別会計

一般会計は、市の仕事の中でも基本的な経費（例えば福祉や教育、道路、公園などの整備、管理などにかかるお金）についての会計（財布）であり、市財政運営の基本となるものです。

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の歳入を特定の歳出にあてるため、一般会計と区別する必要があるとき（区別した方が効率的な予算管理ができるときなど）に、法律や条例に基づいて設けられます。

家庭でも、目的によって財布を分けることがありますね。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税が主な収入で、自営業の方や退職者などの医療を給付する会計です。

介護保険特別会計

介護保険料が主な収入で、要介護（要支援）認定を受けた方の、介護保険給付費用をまかなう会計です。

老人保健特別会計

75歳（一定の障害のある方は65歳）以上の高齢者の医療費をまかなう会計です。この4月から後期高齢者医療制度が始まりましたので、本年度予算では3月診療分までの医療費等について計上しています。

後期高齢者医療特別会計

老人保健制度にかわり平成20年4月から始まった医療制度によるもので、75歳（一定の障害のある方は65歳）以上の高齢者の医療費をまかなう会計です。保険料が主な収入です。

水道事業会計

飲用に適する水として供給する事業で、地方公営企業法が適用される給水人口が5千人を超えるものをいいます。料金収入が主な収入です。

公共下水道事業特別会計

下水道使用料が主な収入で、水質保全・住環境の改善を図るため、下水道施設の整備などを行う会計です。

簡易水道事業特別会計

水道事業のうち、給水人口が5千人以下のものを簡易水道といいます。

財産区特別会計

市町村の一部で財産を有し又は公の施設を設けているものを財産区といいます。財産区それぞれの財産収入が主な収入です。

平成20年度 木津川市予算総額は

平成20年度一般会計予算は、総額227億円で、前年度と比べて9.2%、19億1,500万円の増額となっています。前年度と比べて本庁舎建設費で約7億7,700万円増えていることや、州見台小学校建設立替金償還金約11億1,300万円を計上していることが、主な増額の要因です。

一般会計と11の特別会計をあわせた総額は、前年度と比べて1.6%、約5億7,700万円の減額となっています。

(単位：千円、%)

会 計 別			平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	比	較
					増 減 額	増 減 率
一 般 会 計			22,700,000	20,785,000	1,915,000	9.2
特 別 						

一般会計歳入の内訳は

区 分		予算額(千円)	構成比(%)
1	市税	8,537,045	37.6
2	地方譲与税	227,719	1.0
3	利子割交付金	100,000	0.4
4	配当割交付金	60,000	0.3
5	株式等譲渡所得割交付金	41,000	0.2
6	地方消費税交付金	460,000	2.0
7	ゴルフ場利用税交付金	89,000	0.4
8	自動車取得税交付金	160,000	0.7
9	地方特例交付金	170,403	0.8
10	地方交付税	4,530,000	20.0
11	交通安全対策特別交付金	9,400	0.0
12	分担金及び負担金	606,159	2.7
13	使用料及び手数料	285,365	1.3
14	国庫支出金	1,918,559	8.5
15	府支出金	987,057	4.3
16	財産収入	31,678	0.1
17	寄附金	224,613	1.0
18	繰入金	1,596,759	7.0
19	繰越金	1	0.0
20	諸収入	99,642	0.4
21	市債	2,565,600	11.3
歳入合計		22,700,000	100.0

一般財源	16,255,956	71.6
特定財源	6,444,044	28.4
	22,700,000	100.0

一般財源と特定財源

財源の用途が特定されているものを特定財源といいます。特定の事業実施に対して交付される国庫支出金や府支出金、また大規模な公共事業の財源として発行する市債などがこれにあたります。

一方、財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができるものを一般財源といいます。市税や地方譲与税、地方交付税をはじめとする各種交付金などがこれにあたります。

○市税

市民のみなさんから市に納めていただいている税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など)です。

平成20年度予算では…前年度当初予算と比べて2.8%、約2億3,300万円の増加を見込んでいます。

○地方交付税

国税(所得税など)の一部から、市の財政力に応じて国から地方公共団体に交付されるお金です。

平成20年度予算では…前年度当初予算と比べて7.9%、3億3,000万円の増加を見込んでいます。

○国庫支出金・府支出金

国・府が特定の事業などに対し交付する負担金や補助金などです。

平成20年度予算では…州見台小学校建設(都市再生機構への立替金償還)や上人ヶ平公園の建設、後期高齢者医療制度開始などにより、国庫、府支出金ともに増加を見込んでいます。

前年度と比べて31.5%、約6億9,600万円の増加となっています。

○繰入金

他の会計や基金等から受け入れるお金です。

平成20年度予算では…「財政調整基金」から約8億9,100万円、「公共施設等整備基金」から7億円を繰り入れ、歳入歳出の均衡を図っています。

前年度と比べて25.4%、約5億4,300万円の減少となっています。

◇財政調整基金：予期しない収入減少や支出増加といった年度間の財源の不均衡を調整するための基金(市の貯金)です。

◇公共施設等整備基金：特定の目的のために設けられた基金(特定目的基金)のひとつで、公共施設等の整備の円滑化と促進を図るために設けられた基金です。

○市債

世代間の公平性を保つため大規模な事業などを行うために国や金融機関から長期にわたり借入れるお金を地方債といい、市が発行する地方債を市債といいます。

平成20年度予算では…州見台小学校建設(都市再生機構への立替金償還)や本庁舎建設などに多額のお金が必要なことから、前年度と比べて59.2%、約9億5,400万円の増加を見込んでいます。

一般会計歳出の内訳は

(目的別)

区 分		予算額(千円)	構成比(%)
1	議会費	228,085	1.0
2	総務費	3,739,217	16.5
3	民生費	5,991,444	26.4
4	衛生費	2,219,982	9.8
5	農林水産業費	340,397	1.5
6	商工費	74,784	0.3
7	土木費	3,045,526	13.4
8	消防費	994,861	4.4
9	教育費	3,515,468	15.5
10	災害復旧費	5	0.0
11	公債費	2,520,980	11.1
12	諸支出金	1	0.0
13	予備費	29,250	0.1
歳出合計		22,700,000	100.0

(性質別)

区 分		予算額(千円)	構成比(%)
1	人件費	4,387,404	19.3
2	物件費	3,461,683	15.3
3	維持補修費	245,040	1.1
4	扶助費	2,186,706	9.6
5	補助費等	3,294,294	14.5
6	公債費	2,520,980	11.1
7	積立金	14,686	0.1
8	投資及び出資金	3,400	0.0
9	貸付金	1	0.0
10	繰出金	1,727,648	7.6
11	予備費	29,250	0.1
12	普通建設事業費	4,828,903	21.3
	補助事業費	1,914,280	8.4
	単独事業費	2,881,423	12.7
	受託事業費	0	0.0
	府営事業負担金	33,200	0.1
13	災害復旧事業費	5	0.0
	補助事業費	0	0.0
	単独事業費	5	0.0
歳出合計		22,700,000	100.0

歳出予算については、議会費や消防費などのように、どのような目的であるのかを示す目的別と、人件費や普通建設事業費などのように、どのような性質のものであるのかを示す性質別の分類方法があります。

○人件費

市議会議員や市の職員、選挙管理委員や教育委員など各種委員の報酬、給与、共済費などです。

平成20年度予算では…前年度当初予算と比べて1.3%、約5,700万円の減少となっています。

○物件費

需用費(消耗品費や光熱水費など)、役務費(通信運搬費や手数料など)、臨時職員賃金、旅費、委託料など消費的性質の経費の総称です。

平成20年度予算では…前年度当初予算と比べて2.2%、約7,600万円の減少となっています。

○扶助費

社会保障制度の一環として、各種法令などに基づいて支出される生活保護費や諸手当、医療費助成などの経費です。

平成20年度予算では…児童手当や児童扶養手当、福祉医療費などの増加が見込まれることにより、前年度と比べて7.0%、約1億4,300万円の増加となっています。

○補助費等

各種負担金や団体への補助金などの経費です。

平成20年度予算では…市外や民営保育所への児童入所にかかる市負担分の支出や運営補助、後期高齢者医療制度開始に伴う広域連合負担金などの増加により、前年度と比べて9.9%、約2億9,700万円の増加となっています。

○公債費

過去に借り入れた地方債の元利金償還などに要する経費です。

平成20年度予算では…前年度と比べて2.1%、約5,100万円の増加となっています。今後も高い額で推移することが予想されます。

○繰出金

他の会計に対して支出する経費などです。

平成20年度予算では…後期高齢者医療制度開始により、老人保健特別会計への繰出金が減少するなどにより、前年度と比べて14.1%、約2億8,400万円の減少となっています。

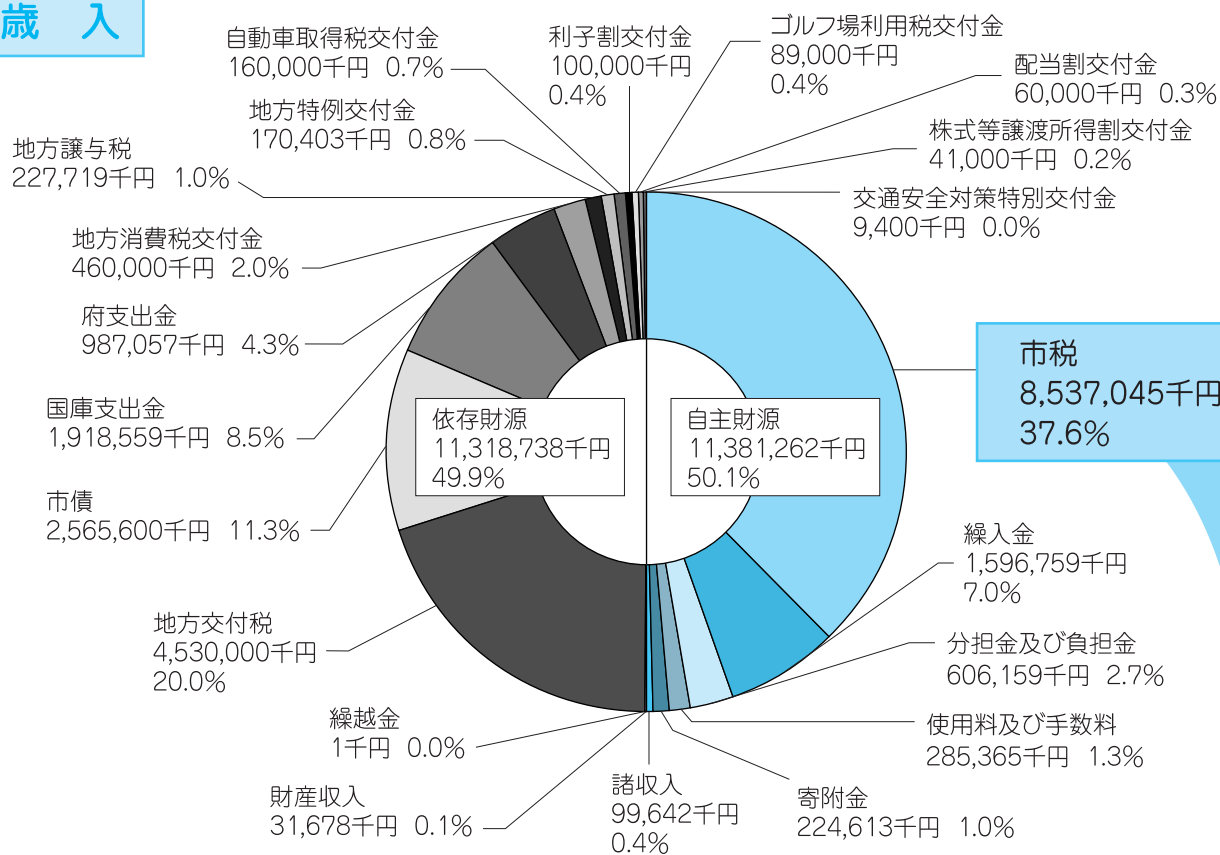
○普通建設事業費

道路、学校、公園などの公共施設の整備に要する費用です。都市再生機構が立替施行した事業に対する償還金も、普通建設事業に分類されます。

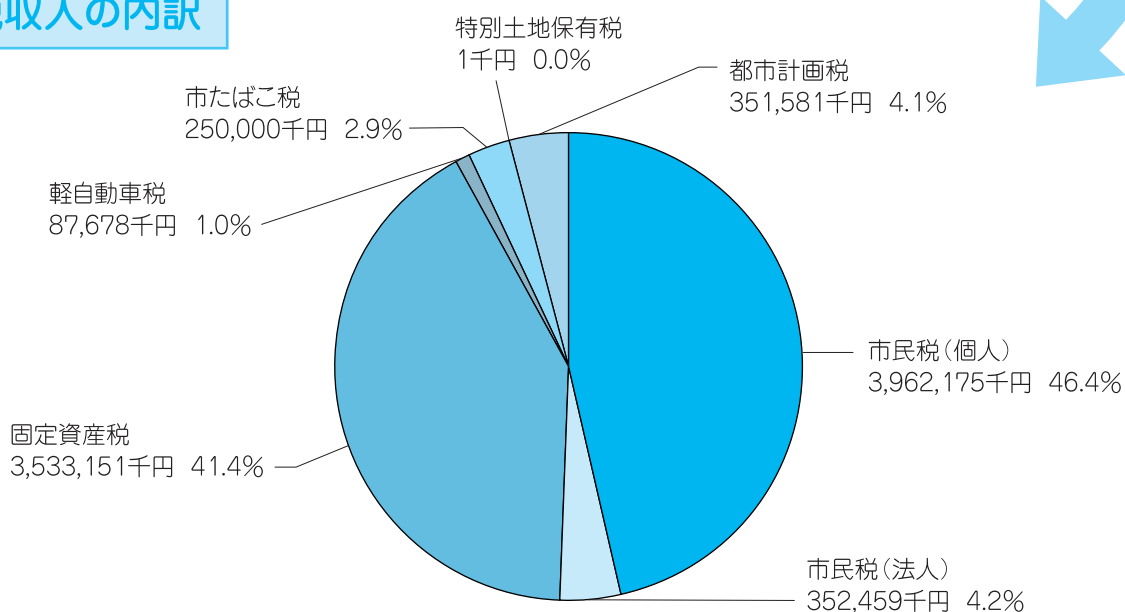
平成20年度予算では…都市再生機構立替施行による州見台小学校建設の償還金約11億1,300万円を支出するのをはじめ、本庁舎建設、木津山田川線改良、上人ヶ平公園建設などの事業費増加により、前年度と比べて54.2%、約16億9,800万円の増加となっています。

グラフでみる一般会計歳入予算

歳入



市税収入の内訳



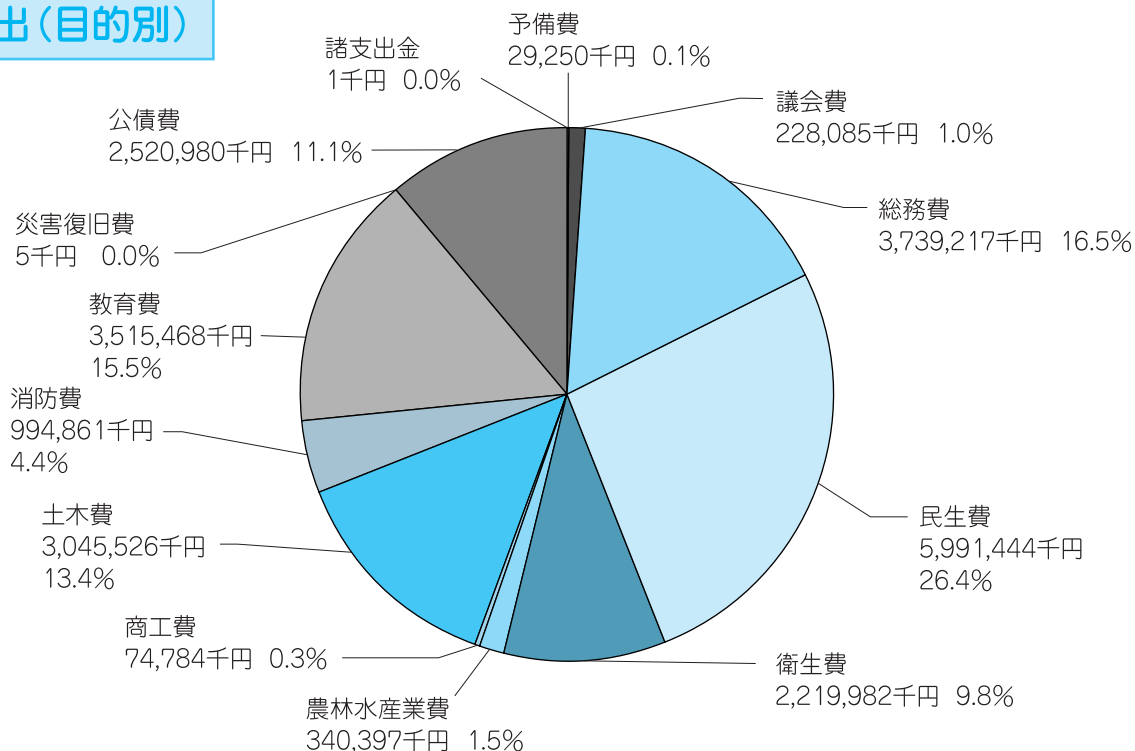
自主財源と依存財源

市が自主的に収入ができる財源を自主財源、国や府などから得る財源を依存財源といいます。自主財源が多いほど、自治体運営において安定した運営ができるとされています。自主財源の大部分を占める市税収入予算額は、歳入全体の3分の1強となっています。

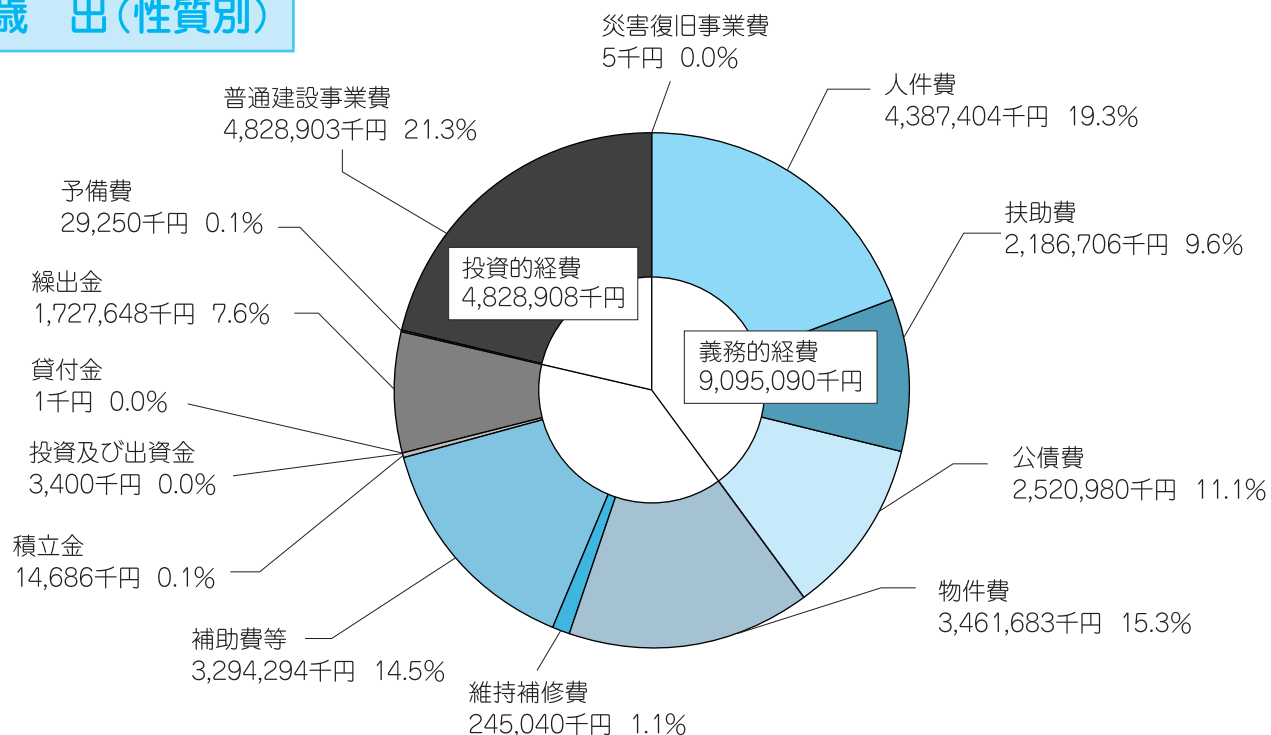
今年度の予算では、自主財源と依存財源の割合はほぼ同じとなっていますが、自主財源の中には財源不足などを補うための基金繰入金がそのうちの約7分の1を占めていて、財政状況は厳しいといわざるをえません。

グラフでみる一般会計歳出予算

歳 出(目的別)



歳 出(性質別)



義務的経費と投資的経費

人件費、扶助費、公債費は、その支出を任意に節減できない経費のため、義務的経費とよばれています。今年度の予算では、全体の40%を義務的経費が占めています。

また、道路や公園、学校などの公共施設の整備に要する経費を普通建設事業費といいます。これと災害復旧事業費、失業対策事業費をあわせて、これらの経費は資本形成に向けられることから投資的経費とよばれています。今年度の予算では、全体の20%強となっています。

平成20年度の主な事業

平成20年度は、「未来の木津川市づくり」の基礎・基盤を固めていく本格的な木津川市のスタートの年と位置づけ、新市基本計画に掲げられた方針に基づき、主要施策として『9つの柱』を据えて予算編成を行いました。

『9つの柱』とは、次のとおりです。

- | | |
|------------------------|----------------|
| I 旧3町の特性を活かした発展 | VI 環境共生型のまちづくり |
| II 新しい市の一体性の確保 | VII 行政サービスの充実 |
| III 子育て支援 No.1、教育環境の充実 | VIII 行財政改革の推進 |
| IV 安心・安全なまちづくり | IX 住民協働のまちづくり |
| V 福祉の充実したまちづくり | |

以下、『9つの柱』の取組を含め、平成20年度一般会計予算に盛り込まれた主な事業を目的別に紹介します。

議会費 議会運営のために

○ 議会だよりの発行 425 万円

定例会の審議内容など、議会の情報を掲載した「木津川市議会だよりの発行」を行います。

総務費 市の総括的な事務や事業のために

○ 企業・研究施設の誘致 3,792 万円

木津川市企業立地促進条例に基づき、市内に立地する企業に対する補助金の交付や、企業誘致のためのパンフレット作成などを行います。

○ 市民みんなで楽しめるイベントの開催 754 万円

七夕まつり、木津川市納涼大会など、老若男女みんなで楽しめるイベントを開きます。また、各町商工会が中心となって実施される地域まつりに対して補助を行います。



▲ 七夕まつり

○ 木津川市総合計画の策定 886 万円

これからの木津川市づくりの指針を定めます。今年度末の策定を目指します。

○ JR駅舎(棚倉・上粕)の再生 612 万円

無人駅である棚倉・上粕両駅に駅業務従事者を配置し、利便性の向上などを図ります。

○ 新庁舎の建設 14億108 万円

建設中の新庁舎が完成、業務を開始します。窓口サービスの改善をはじめ、分散している本庁機能の強化を図ります。

○ 諸証明発行業務の充実 195 万円

市役所での窓口サービス充実のため、新庁舎には2台の諸証明自動交付機を設置します。

○ 税収納事務の共同化 725 万円

京都府との税収納事務の共同化を行うことによって収納率向上を図り、負担の公平性を確保します。

○ 広報きづがわの発行 3,210 万円

毎月1回、市の情報などを掲載した「広報きづがわ」を発行します。また、木津川市としては初となる市勢要覧の発行を計画しています。

○ コミュニティバスの運行 1億838 万円

バス交通空白地帯を解消し、公共施設へのアクセス確保と、幅広い市民の方々の交通の利便性向上を図るため、きのつバス、加茂コミュニティバスを運行します。

○ 友好都市・京丹後市との交流 44 万円

旧木津町・旧丹後町時代から25年にわたって続く交流を受け継ぎ、平成20年1月11日、京都府の最南端「木津川市」と最北端「京丹後市」が友好都市盟約を締結しました。交流事業参加団体への補助を行います。

○ 行政区自治の振興 3,334 万円

行政区ごとに区長等の役員を置き、行政運営の円滑化を図るとともに、自治組織活動の拠点である集会所の建設や修繕に対する補助を行います。

○ 交通安全施設の整備 839 万円

交通安全・事故防止のため、危険箇所などにおける交通安全施設の設置・修繕を行います。

○ 道路照明灯(防犯灯)の整備 4,340 万円

道路照明灯(防犯灯)の新設・修繕を計画的に行うほか、電気料金についても市が負担します。

○ 梅美台2・3丁目集会所の建設 5,790 万円

○ 梅谷集会所の実施設計 300 万円

民生費 福祉の充実のために

○ 放課後児童クラブの充実 1億158 万円

放課後児童クラブの対象者を、「小学4年生まで」から「小学6年生まで」へと拡大するとともに、指導員体制の充実を図ります。



▲ 放課後児童クラブ

○ 後期高齢者医療制度開始への対応 3億9,784 万円

平成20年4月スタートの新しい医療制度に、適切に対応します。

○ 男女共同参画の推進 310 万円

男女共同参画社会の実現に向け、各種研修会・講座やフォーラム・フェスタを開催します。

また、市の男女共同参画計画策定に着手します。

○ 障害者福祉手当等 2,325 万円

一定の障害のある方に手当を支給し、福祉の増進を図ります。

また、外出が困難な障害のある方の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付します。

○ 障害者自立支援給付費等 4億7,622 万円

障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援するために、必要な福祉サービスの提供や医療の給付などを行います。

○ シルバー人材センターの運営補助等 2,035 万円

高齢者の豊かな経験や技能の活用と生きがいづくりを目的に事業を展開されているシルバー人材センターに補助を行います。

○ 社会福祉協議会への補助 6,731 万円

社会福祉協議会事務局職員の設置をはじめ、福祉大会など各種事業に対する補助を行います。

○ 福祉医療(子育て支援)の助成 1億8,350 万円

乳幼児・児童の健康と保護者の支援のため、府制度にさらに市単独制度分を上乗せして助成します。

○ 民営保育園への助成 5億1,236 万円

保育に欠ける児童の保育の実施を民営保育園に委託します。また、民営保育園が実施する延長保育、一時保育、障害児保育などさまざまな事業に対し、また民営保育園の安定的な運営を促すため、補助を行います。

○ 災害時における要配慮者の台帳整備 138 万円

災害時に配慮が必要な障害者や高齢者などの方の台帳整備を行います。

○ 障害者基本計画等の策定 494 万円

障害者基本法に基づき、これからの市の障害者福祉施策を方向づけるもので、必要なサービスの見込みやその確保の方策を定めます。

○ 生活保護費 3億5,877 万円

生活に困窮されている方々に必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図ります。

○ 児童手当等 5億6,332 万円

児童を養育している方の家庭生活の安定、次代をになう児童の健全な育成のため、児童手当を支給します。

○ 高齢者福祉手当 1,800 万円

生活の安定に寄与するため高齢者福祉手当を支給し、高齢者の福祉向上を図ります。

○ 老人福祉センターの運営 1,381 万円

木津老人福祉センター及び山城老人福祉センター「やすらぎ苑」の管理運営にかかる経費です。木津老人福祉センターは管理運営を社会福祉協議会に委託しています。

○ 特別障害者手当等の支給 1,718 万円

常時特別の介護を必要とする在宅の重度障害のある方々に手当を支給します。

○ 民生児童委員の活動支援 1,186 万円

民生委員・児童委員は、関係行政機関の業務に協力しながら、援助を必要とする方の相談や情報提供をおこなうなど、住民福祉の増進を図るための活動をしています。市内の民生・児童委員で構成される協議会のさまざまな活動に対して補助を行います。

○ 福祉医療(障害者)の助成 7,657 万円

75歳未満の一定の障害がある方で、後期高齢者医療の被保険者でない方の医療費を助成します。

○ 老人クラブ活動助成 670 万円

各地域の単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動、諸事業に補助を行います。

○ 在宅福祉の支援 332 万円

軽度生活援助ヘルパーの派遣、ふとん水洗い、ショートステイ、家族介護者交流事業、高齢者日常生活用具の給付といった取組により、在宅での介護を支援します。

○ 人権啓発 548 万円

「人権文化のつどい」をはじめとするイベントや講座の開設を通じ、明るいまちづくりを進めます。

○ 人権センターの運営 572 万円

木津と加茂の2箇所で開催しているさまざまな相談・交流活動の拠点施設にかかる管理運営経費です。

○ 母子福祉の推進 2億1,217 万円

母子家庭の生活の安定と自立促進を図るため、児童扶養手当を支給するなど、さまざまな支援を行います。

○ 重度心身障害老人健康管理事業 8,082 万円

65歳以上の一定の障害がある方で、後期高齢者医療制度の被保険者の方の医療費を助成します。

○ 福祉医療(母子)の助成 3,935 万円

母子家庭親子の医療費を助成します。

○ 敬老会 1,241 万円

数え年70歳以上の方々をご招待し、式典とアトラクションなどで長寿をお祝いします。

○ 在宅高齢者配食サービス 360 万円

おおむね65歳以上のひとり暮らしや高齢者世帯で食事の調理が困難な方にお弁当を届けます。

○ 老人医療の助成 8,910 万円

65歳以上70歳未満の方(所得制限などの要件あり)の医療費を助成します。

○ 女性センターの運営 861 万円

女性の就業支援、各種講座などの開催、相談、情報の提供などの諸活動にかかる市の拠点施設の管理運営経費です。

○ チャイルドシートの購入補助 240 万円

子育て支援の一環として、着用が義務づけられているチャイルドシートを新規購入された方に補助を行います。

衛生費 健康で衛生的な生活のために

○ マタニティマークの配布・妊婦健康診査の充実 1,535 万円

厚生労働省が推進する妊産婦にやさしい環境づくりによる「マタニティマーク」を配布し、妊産婦、特に妊娠初期の方の健康維持に協力します。また、妊婦健康診査についても実施回数を増やし、その充実を図ります。

○ リサイクル研修ステーションでの取組 268 万円

ごみ減量化の啓発をはじめ、リサイクル活動の実践、環境まつりの開催など、地域で身近にできる地球にやさしい活動を推進します。

○ 環境美化事業 839 万円

不法投棄を防止するためのパトロールや、不法投棄を発見したときの撤去経費、空地の除草に要する経費です。

また、身近な公共空間である道路、公園などを市民等が里親となり、ボランティアで管理することにより、市と市民等の協働による、環境と共生する安全で安心なまちづくり「アダプト・プログラム」を推進します。



◀ マタニティマーク

○ ごみの減量化とリサイクル活動の推進 2,332 万円

資源の有効利用を促進するため、古紙回収に取り組んだ団体や、ごみの減量化を目的に生ごみ処理器などの購入に対する補助を行います。また、ごみ処理にあたって、資源の有効利用を図るため、市民のみなさんをはじめ、事業者とも連携した取組を進めます。

○ 健康増進法検診 552 万円

骨粗しょう症検診や歯周疾患検診など、健康増進法に基づく検診等を実施します。

○ 予防接種 8,066 万円

市民のみなさんの疾病予防のため、予防接種を実施します。

○ ごみの処理 10億1,965 万円

可燃ごみの焼却処理にかかる相楽郡西部塵埃処理組合への負担金をはじめ、ごみの収集運搬、不燃ごみの中間処理などに要する経費です。ごみの適切な処理に努めます。

○ 環境の保全 877 万円

学研都市に立地する研究施設稼働後の環境管理や、河川等の水質調査、大気・騒音調査などを行い、環境保全に努めます。

○ 合併浄化槽設置補助 1,666 万円

合併処理浄化槽の設置を行う市民の方に補助金を交付し、水質汚濁防止・生活環境向上を図ります。

○ 共同浴場の運営 3,991 万円

「いずみ湯」と「やすらぎの湯」の2か所の共同浴場の運営経費です。

○ 総合がん検診 8,665 万円

がんを早期のうちに発見するため、胃がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、結核・肺がん、子宮がん、肝炎ウィルスの各検診を実施します。

○ 乳幼児健診 837 万円

乳児前期(3・4か月児)、乳児後期(10・11か月児)、幼児(1歳6・7か月児)、幼児歯科(1歳9・10か月児)、三歳児(3歳6・7か月児)の各健康診査を実施します。

○ 不妊治療費の給付 126 万円

不妊治療を受けておられるご夫婦に治療費の一部を給付し、経済的負担の軽減を図ります。

○ 保健センターの管理 1,035 万円

木津、加茂、山城の3か所の保健センターの管理経費です。

農林水産業費 農業・林業の振興のために

○ 農業基盤整備の推進 1億5,102 万円

地域産業振興の一環として、農業基盤整備を進めます。北綺田地区で推進しているほ場整備事業は、今年度完了を目指しています。木津かんがい排水事業では、昨年度の木津Ⅰ地区の工事完了に引き続き、今年度は木津Ⅱ地区の測量・設計に着手します。

○ 府営農免農道の整備 1,878 万円

府営事業として進められている農免農道整備に対する負担金です。平成20年度に山城Ⅰ期地区完成、山城Ⅱ期地区着手の予定です。

○ 土地改良施設維持管理適正化事業 841 万円

土地改良施設維持管理適正化事業の制度を活用し、平成20年度に梅谷畑地かんがい揚水機の更新を、平成23年度に木津揚水機場電源設備の更新を行います。

○ 農地、水と環境保全共同活動の支援 306 万円

農地や水路などを守る地域の共同活動を支援します。



▲ 市坂区水土里保全ネットワークのみなさん

商工費 商業・工業の振興のために

○ 市民みんなで楽しめるイベントの開催 15万円

木津川市魅力探検ツアーなど、老若男女みんなで楽しめるイベントを開きます。

○ 観光の振興、市の魅力発信 612 万円

木津川市の中にあって全国有数の観光地である当尾地域で、観光客の方々に快適に利用していただけるトイレの設置に向けて調査設計を行います。また、木津川市内を地域別に紹介・案内する観光パンフレットの作成や、木津川市観光協会に対する補助金交付などを行います。

○ 商工会への補助 2,773 万円

木津町、加茂町、山城町の各商工会に対して補助金を交付します。

○ 中小企業融資制度利子補給補助等 1,634 万円

京都府中小企業融資制度「小規模企業おうえん融資」により融資を受けられた方に、保証協会に支払った保証料や当初1年間に支払った利子に対して補給金を交付します。

土木費 まちの基盤整備のために

○ 通学路の安全性向上 2,009 万円

学童通学路でもある綾杉北河原線について、府道枚方山城線平尾バイパス開通により交通量が増えていることに対応するため、道路拡幅と新設する歩道の早期完成を目指します。

○ 準用河川の洪水対応能力向上 5,702 万円

準用河川井関川について、中規模洪水に対応できるよう、改修を引き続き進めていきます。

○ 木津川市の玄関口・木津駅前整備 5億2,689 万円

土地区画整理事業による木津駅前地域の整備を、引き続き行います。今年度は、公園整備や緊急用貯水槽設置に着手するほか、継続中の駅前広場や駅周辺道路の整備などを行う予定です。

○ 文化財の保全と活用・上人ヶ平公園 2億8,960 万円

平城宮の瓦を生産した一大工房跡である上人ヶ平遺跡で建設を進めている上人ヶ平公園の今年度の完成を目指します。

○ 公園の維持管理 1億4,649 万円

都市公園の除草や施設修繕などを計画的に行い、適正な管理に努めます。

○ 山城町公園緑化協会への施設管理委託等 5,232 万円

不動川公園などの都市公園、山城総合文化センター、山城プールなど、山城町公園緑化協会を指定管理者としている施設の管理委託料などです。

○ 都市計画マスタープランの策定 210 万円

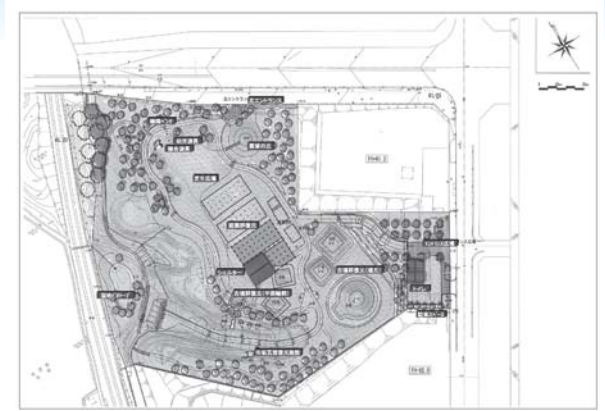
これからの木津川市の都市づくりの指針として、目指すべき将来像と、その実現に向けた取り組みの方向性についての計画策定に着手します。3か年計画の1年目です。

○ 市営住宅の維持管理 1,268 万円

住宅の適切な保守に努めるとともに、今後の計画的な改修実施のために老朽化調査を行います。

○ 新庁舎へのアクセス向上 1億3,039 万円

市道木津山田川線道路改良に向けての取組を推進するとともに、庁舎周辺の街路についても拡幅整備のため実施設計を行います。



▲ 上人ヶ平公園計画図

○ 道路・街路樹等の維持管理 9,615 万円

市道の補修や除草、街路樹の剪定などを計画的に行い、適正な管理に努めます。

○ 河川の維持管理 4,260 万円

準用河川や都市下水路の除草や浚渫などを計画的に行い、適正な管理に努めます。

○ 急傾斜地の崩壊対策 1,175 万円

鹿背山地区、大野地区、神童子地区で京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する負担金です。

○ 加茂駅前線の整備 270 万円

京都府が進めている都市計画道路加茂駅前線整備事業に対する負担金です。

消防費 暮らしの安全のために

○ 消防・防災力の向上 2,125 万円

市消防団へ消防用備品を配備するとともに、耐震性貯水槽など消防施設の整備や防災備蓄倉庫設置を計画的に進め、消防力・災害対策強化に努めます。また、今年度にはすべての小・中学校へのAEDの設置完了を予定しています。

○ 消防団の運営 6,528 万円

市消防団の活動資材配備をはじめ、操法大会や各種訓練、パトロールの実施などによる、市民のみなさんの生命と財産を守る諸活動経費です。

教育費 教育・学習活動振興のために

○ 小・中学校普通教室への扇風機設置 601 万円

児童・生徒に良質な学習環境を提供するため、普通教室への扇風機の設置を4ヶ年計画で進めます。今年度は、36教室への設置を予定しています。

○ 小学校施設の耐震化 949 万円

児童に安心・安全な教育環境を提供するため、耐震性に問題のある校舎などの耐震化を重点事業として鋭意進めます。今年度は、木津小学校と相楽小学校の耐震工事の実施設計を行います。

○ 地域ぐるみでの子どもの安全確保 2,660 万円

市内13小学校に警備員を配置するとともに、地域ボランティアの方々の協力も得て、子どもたちの安全確保を図ります。

○ 新設中学校建設に向けて 6,040 万円

木津南地区の開発に伴い、木津中学校の生徒数が急増しています。このため、新しい中学校の建設に向けて、今年度は基本設計と詳細設計を行います。

○ 特色ある学校づくりの推進 86 万円

各小・中学校が創意工夫し、スポーツや文化・芸術活動などを通して、子どもたちの体力向上や豊かな人間性を育成するための特色ある学校教育活動を推進します。

○ 幼稚園通園バスの運行 3,200 万円

木津・相楽・高の原の3幼稚園へ通園する園児の送迎バス4台の運行経費です。

○ 平城遷都1300年と国民文化祭に向けて 100 万円

2010年の奈良県における平城遷都1300年記念事業と、2011年の京都府における国民文化祭の開催が予定されています。市内の歴史的文化遺産を活用し、これらの行事に参画・連携していくための取組を進めます。

○ カウンセリングルームの設置、心の教育相談員の設置、 適応指導教室の開設 421 万円

中央図書館にカウンセリングルームを設置し、不登校やいじめなどさまざまな教育上の問題について、市内の小・中学生とその保護者からの相談に応じています。また各中学校へはスクールカウンセラーや心の教育相談員を配置、木津小学校内では適応指導教室を開設し、不登校傾向の児童・生徒をサポートします。

○ 青少年健全育成の取組 378 万円

パトロールやさまざまな体験活動などの取組を実施します（木津川市青少年育成委員会へ委託）。また、地域子ども会の活動振興のため、補助を行います。

○ 公民館の管理運営 1,464 万円

南加茂台公民館を中心に、公民館講座など各種社会教育事業の充実とサークル活動の振興を図ります。

○ 加茂文化センターの管理運営 5,015 万円

文化教室の開設や施設設備の良好な維持管理により、利用促進を図ります。

○ 文化財の保全と活用 1億2,122 万円

高麗寺跡の史跡整備に向けての取組や、恭仁宮跡、椿井大塚山古墳の公有化を継続して推し進めるとともに、恭仁宮跡では整備活用計画について広く検討を行うための組織を新たにおこします。また、市内における開発行為などから埋蔵文化財を守るための遺跡調査や、所有者による文化財保全修理事業などに対する補助金交付を行います。

○ 文化財の公開管理 1,107 万円

恭仁宮跡をはじめとする市内の史跡の環境維持と美化に努めます。

○ 生涯スポーツの振興 1,330 万円

体育指導委員によるニュースポーツの普及活動や、体育協会やスポーツ少年団への補助などにより、市民の生涯スポーツ活動振興を図ります。

○ 中央体育館・スポーツセンターの管理運営 2,096 万円

市民のスポーツ活動拠点施設の管理運営経費です。



○ 国際交流の推進 1,944 万円

外国青年3名を語学指導助手として招致するなど、国際理解教育の充実を図ります。また、国際交流の推進と国際親善に寄与するため、アメリカ・サンタモニカへの中学生派遣などに取り組んでいる国際交流協会へ補助を行います。

○ 放課後子ども活動の支援 901 万円

「京のまなび教室推進事業」として、放課後の子どもたちの活動を支援するため、安全な環境を確保し、諸活動のコーディネートを行います。

○ 州見台小学校建設立替金償還 11億1,285 万円

平成19年度開校した州見台小学校は、木津川市に代わり、独立行政法人都市再生機構が建設費用を立て替えて完成しています。このため、今年度は国庫支出金や市債を財源に、多額の償還を行うこととしています。

○ 学校給食センターの管理 1億3,636 万円

市内9小学校、3中学校の給食を調理する木津、山城 各学校給食センターの運営経費です。コンテナ洗浄機や給食配送車の順次更新など設備の保全に努め、安全でおいしい給食を提供します。

○ 交流会館の管理 3,030 万円

中央・西部・東部 各交流会館管理運営にかかる指定管理者への委託料と、施設の緊急修繕料です。

○ 子ども活動の支援（少年少女合唱団指導育成） 216 万円

加茂少年少女合唱団と山城少年少女合唱団に加え、新たに木津少年少女合唱団を結成し、いっそうの情操教育の充実と文化振興を図ります。



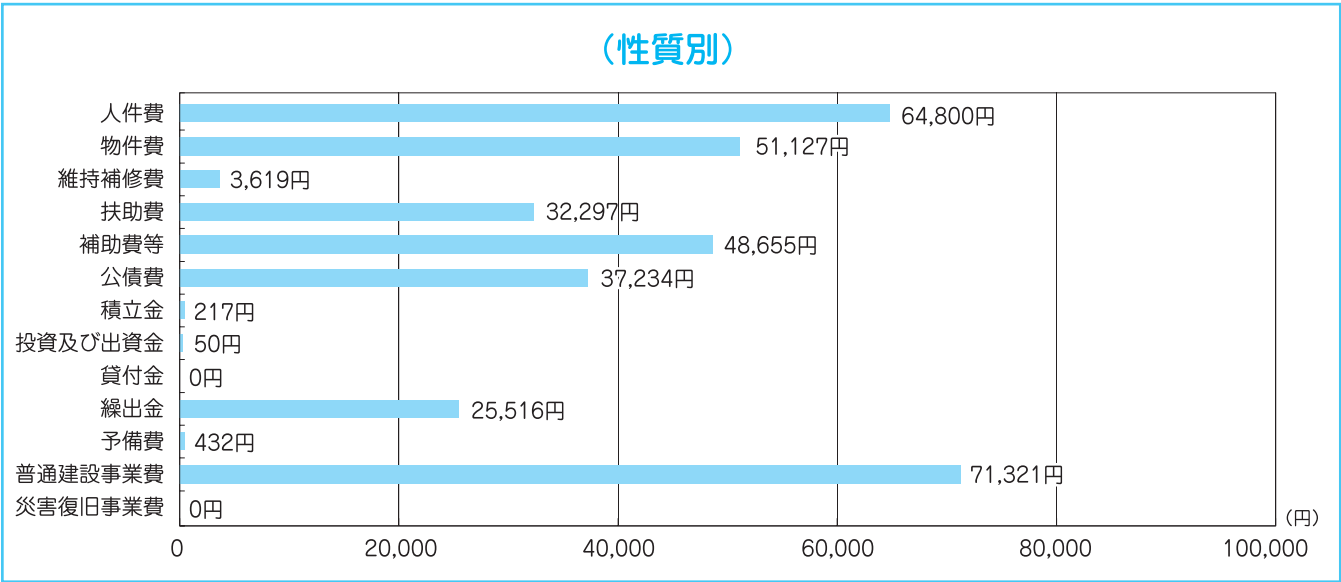
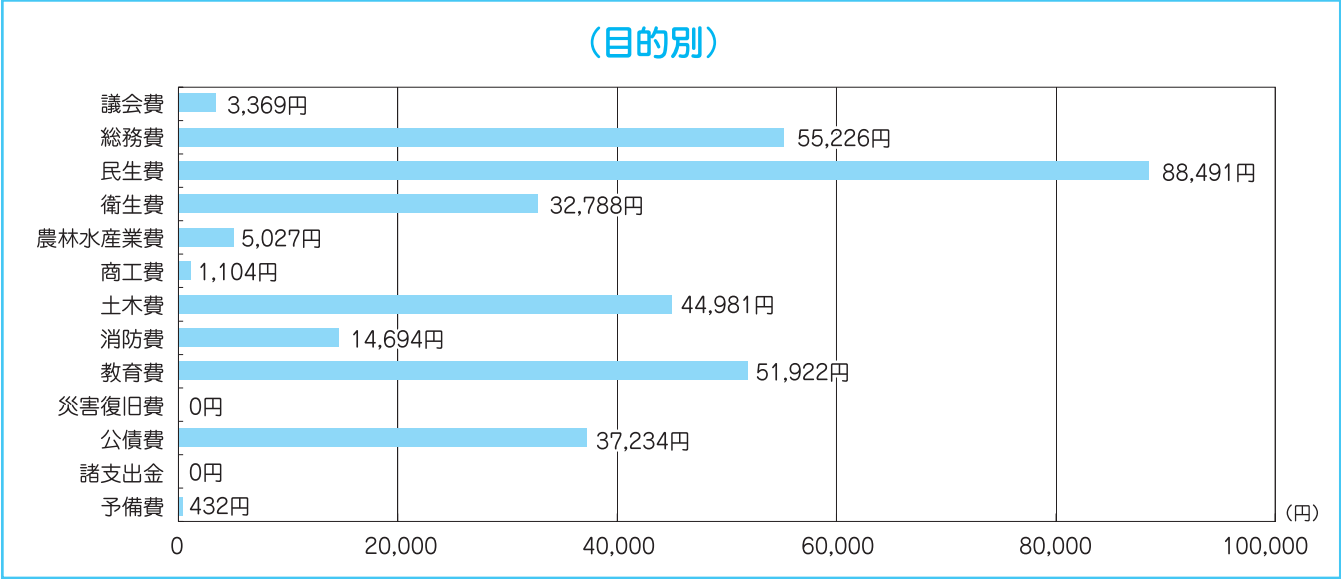
▲ 恭仁宮跡での加茂まつり

○ 図書館の管理運営 4,385 万円

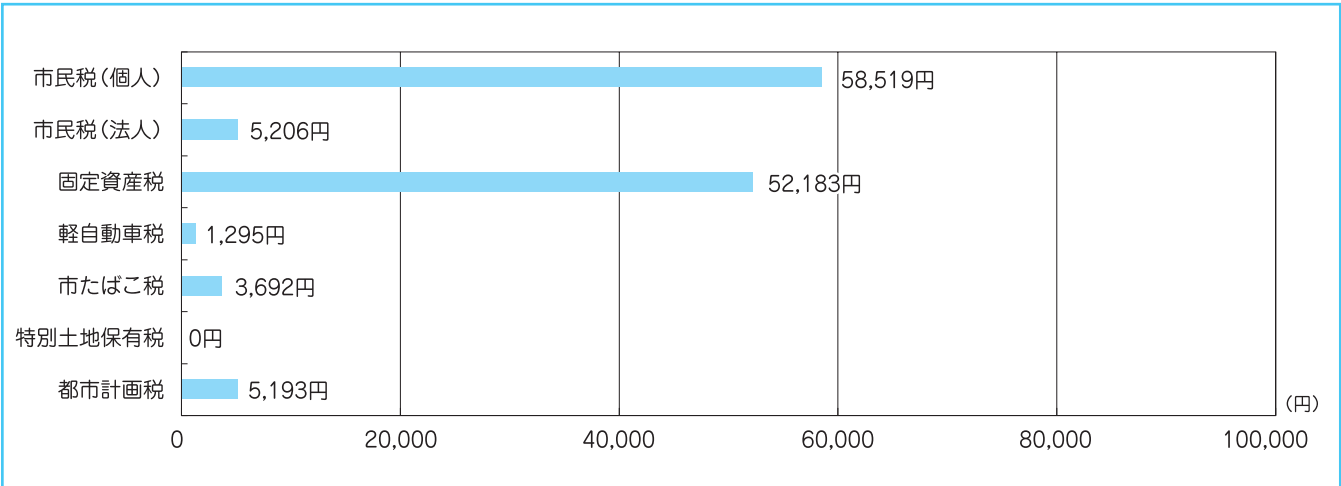
中央、加茂、山城 各図書館を拠点に、資料の充実をはじめとする図書館活動を展開し、市民のみなさんの生涯学習活動を支援します。

市民1人あたりの予算額

歳出予算を市民1人あたりでみると



税負担額 市民1人あたりにすると



金額は、平成20年度の予算額を平成20年4月1日現在の木津川市全人口(67,707人)で割ったものです。(一般会計 市民1人あたり 335,268円)

木津川市の家計は

平成20年度の一般会計予算では、市民 1 人あたり約33万5,000円のお金を使う計画となっています。

この金額を、ひと月の生活費と考えて、一般家庭の家計に例えて紹介します。
(それぞれの右側の小さい数字は平成19年度予算をもとにした額です。)



収入(歳入)			支出(歳出)		
	H20	H19		H20	H19
月収(会社からの給料など) (市税、各種譲与税、交付金など)	227,560 円	216,130 円	食費 (人件費)	64,800 円	65,641 円
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	46,232 円	33,962 円	医療費、学費など (扶助費)	32,297 円	30,186 円
ローンの借入 (市債)	37,893 円	23,806 円	光熱水費、日用品費 (物件費)	51,127 円	52,253 円
貯金からの引出し (繰入金)	23,583 円	33,087 円	子どもへの仕送り (繰出金)	25,516 円	29,718 円
			家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)	74,940 円	47,614 円
			ローンの返済 (公債費)	37,234 円	36,475 円
			町内会費、サークル活動など (補助費等)	48,655 円	44,265 円
			貯金 (積立金など)	699 円	833 円
合 計	335,268 円	306,985 円	合 計	335,268 円	306,985 円

わが家では、給料などの月収が約22万7,000円あります。

一方、支出の合計は、約33万5,000円です。

そこで、親から約4万6,000円の仕送りを受けていますが、それでもまだ支出の合計が収入額を超えています。
この分を補うために、家の修繕・増改築費用の一部を借金するほか、貯金を引き出してやりくりしています。

月収は先月より増える見込みです

税収や地方交付税の伸びが期待できることなどにより、前年度と比べて約7億7,400万円(家計に換算すると1万1,430円)増えると見込んでいます。

食費や光熱水費、日用品費の節約に努めています

行政サービスの質は落とさず、国や府の制度変更などにも適確に対応しながら、より効率的で効果的な行政運営を目指しています。

ローンの借入残高が増えそうです

新庁舎の建設など、まとまったお金が必要な公共事業や、州見台小学校建設費の償還にあてる財源として、多額の市債発行を予定しています。そのため、ローンの借入額が、ローンの返済額を上回り、借入残高が増えることになりそうです。

貯金を引き出します

節約の努力はしていても、どうしても必要なことにお金がかかります。足りないお金は基金を取り崩す予定ですが、お金の使い方を工夫して、基金を取り崩す額を少なくしていこうと思っています。

平成20年度 木津川市予算のあらましの発行にあたって

この度、平成20年度木津川市予算のあらましを発行することといたしました。

現在の地方自治体における財政状況は、本格的な少子高齢化や人口減少時代の中にあつて、三位一体の改革において廃止・縮減された国庫支出金に見合う税源移譲が行われなかったことや、医療費をはじめとする扶助費の大幅な増加などによりまして、極めて厳しい状況となっております。

このような中、財政破綻を起こす自治体や、いわゆる公費の無駄遣いが連日のように報道されており、自治体運営の透明性を向上させることが、以前にも増して求められております。

もとより、クリーンで誠実な市政の実行や、積極的な情報開示によります開かれた市政の推進は、私の政治理念でもあり、21世紀に求められております市民の皆様との協働による市政の推進には、積極的な情報開示が何よりも必要であると考えているところでございます。

この冊子の中では、木津川市の予算がどのように使われるのか、また、財政の健全性がどの程度確保されているのか等、グラフなどを活用しながら市民の皆様にわかり易く作成いたしました。

最先端の科学技術やロマン溢れる文化財、豊かな自然環境に恵まれたこのすばらしい木津川市を、健全な財政状況で子や孫の代に引き継ぐためにも、積極的な行財政改革を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きまして市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

京都府木津川市長 河井 規子

平成20年度 木津川市予算のあらまし

発行	平成20年6月 木津川市役所 総務部 財政課
住所	木津川市加茂町里南古田156（木津川市役所加茂支所2階）
電話番号	0774-76-3611（加茂支所代表） 0774-76-8506（財政課ダイヤルイン）
FAX	0774-76-6622
ホームページアドレス	http:// www.city.kizugawa.lg.jp
E-mail	zaisei@city.kizugawa.lg.jp